

# 岡山市立小学校の教育課程に関する研究

## — 学校教育目標の分析・類型化 —

住野 好久 ・ 三島 知剛\* ・ 藤枝 茂雄 ・ 山崎 光洋\*  
宮本 浩治 ・ 今井 康好\* ・ 尾島 卓 ・ 高瀬 淳

岡山市立小学校全93校(分校・分教室等を含む。)の教育課程,特にそれを構成する要素の一つである学校教育目標に着目し,その特徴を明らかにするとともに類型化を行なった。学校教育目標に使われている言葉の分析からは,体育・徳育・知育の順に重視されていること,岡山市の教育が目指す「自立する子どもの育成」を踏まえた「自主 自立 主体性」や「地域郷土」「国際 国際社会」というESDとの関連を鮮明に示す言葉はあまり使われていないこと,また,クラスター分析による学校教育目標の類型化からは,「指導要領準拠型(23校)」「徳育体育重視型(23校)」「地域協働型(4校)」「特色ある目標型(29校)」「努力自立重視型(14校)」の5類型に分けられることが明らかになった。最後に,岡山市立小学校における学校教育目標の改善・充実に向けた方策を5点提起した。

Keywords: 教育課程, 学校教育目標, クラスター分析, 岡山市, 小学校

### 1. 問題の所在と本研究の目的

#### (1) 教育課程の構造と岡山市立学校の教育課程の様式

学校における教育課程とは「学校教育の目的や目標を達成するために,教育の内容を生徒の心身の発達に応じ,授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画」であり,学校の教育活動の全体計画のことである。教育課程を編成する際には「学校の教育目標の設定」「指導内容の組織」「授業時数の配当」の3つが基本的な要素になるとされている<sup>1)</sup>。岡山市立小学校の場合も「岡山市立学校管理規則(市教育委員会規則第6号,昭和38年12月7日)」<sup>2)</sup>に示されている教育課程の様式は,「学校教育目標」,「指導内容の重点を示す「指導の重点」,そして「授業時数の配当」が主な構成要素となっている(図1)。

しかし,我々が先に行った「岡山市立中学校の教育課程に関する研究—学校教育目標の分析・類型化—」<sup>3)</sup>(以下,「岡山市立中学校教育課程研究」

と略す。)において指摘したように,様式の紙面の大半を「授業時数の配当」が占めており,「学校教育目標」や「指導の重点」を書き込むところは小さい。このような教育課程の様式からは,各学校において「学校教育目標」や「指導の重点」の検討をしたり,それらを教職員が共有したりすることが軽視されるのではないかという危惧が生じる。

#### (2) 研究の目的

そこで本研究では,岡山市立小学校がどのような教育課程を編成しているかを明らかにするために,先の研究により岡山市において教育課程編成時に十分検討されにくい状況が存在する可能性を指摘した「学校教育目標」に注目する。そして,岡山市立小学校における学校教育目標の特徴を明らかにし,多変量解析の一つであるクラスター分析を用いて学校教育目標の類型化を行うことを目的とする。

本研究を通して,岡山市立小学校がどのような教

岡山大学大学院教育学研究科 学校教育学系 700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

\*岡山大学教師教育開発センター 700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

A Study on the Curriculum of Elementary Schools in Okayama City; Analysis and Classification of the Educational Objectives

Yoshihisa SUMINO, Tomotaka MISHIMA\*, Shigeo FUJIEDA, Mitsuhiro YAMASAKI\*, Kouji MIYAMOTO, Yasuyoshi IMAI\*, Taku OJIMA, and Atsushi TAKASE

Division of School Education, Graduate School of Education, Okayama University, 3-1-1 Tsushima-naka, Kita-ku, Okayama 700-8530

\*Center for Teacher Education and Development, Okayama University, 3-1-1 Tsushima-naka Kita-ku, Okayama 700-8530

育によって、どのような子どもたちの育成を目指し、どのような特色ある学校づくりを目指しているかが明らかになる。そして、本研究が、各学校による特色ある教育課程の編成に役立つことを期待している。

## 2. 研究の方法

本研究は、「岡山市立中学校教育課程研究」と同様に、ベネッセ教育総合研究所の「学習指導基本調査」における耳塚寛明による研究（以下、「ベネッセ調査」と略す。）の方法を参考としている<sup>4)</sup>。「ベネッセ調査」では、調査対象となった各学校に対し、学校教育目標に含まれている言葉（類似した言葉も含む。）を33項目の選択肢から複数回答で選択させ、その頻度を分析するとともに、クラスター分析を用いて学校教育目標の類型化を行っている。

本研究においてもそれと同様の方法を採用することで岡山市と全国の比較ができると考え、岡山市教育委員会に対し、分校・分教室・派遣学級を含む岡山市立の全ての小学校93校の平成27年度教育課程における学校教育目標について情報提供を依頼した。そして、得ることができた全93校の学校教育目標に含まれている言葉が「ベネッセ調査」と同様の33項目の選択肢に当てはまるかどうか分析した。この作業は「ベネッセ調査」とは異なり、本研究に取り組んだ3名の研究者により行った。3名がそれぞれに各学校の学校教育目標に含まれている言葉が33項目に該当するか分析し、その後、それぞれの作業結果を持ち寄って比べ、判断が異なったところについては協議をして、最終的な判定を行った。こうして得られたデータをもとに岡山市立小学校の学校教育目標に含まれている言葉の出現頻度を分析し、それを「ベネッセ調査」と比較することで、岡山市立小学校の学校教育目標に用いられている言葉の項目ごとの頻度の特徴を明らかにした。

次に、学校教育目標の内容の類型化を行うために、「ベネッセ調査」と同様に多変量解析の一つであるクラスター分析を行った。クラスター分析の結果は全共同研究者で考察してその特徴を検討した。

様式第6号(その1)

平成 年度 教育課程編成表		岡山市立 小学校																	
		学校長氏名印																	
学 校 教 育 目 標	指導の重点																		
	年間授業日数	学年						授業時数の配当											
学 日	年	1	2	3	4	5	6	特別行事	区 分	学 年									
	数								儀 式 的 行 事	1	2	3	4	5	6				
各 科	区 分	授 業 時 数 の 配 当						学 校 活 動	文 化 的 行 事										
	国 語								健 康 安 全 ・ 体 育 的 行 事										
教 育 課 程	社 会							遠 足 ・ 集 団 宿 泊 的 行 事											
	算 数							勤 労 生 産 ・ 奉 仕 的 行 事											
科 目	理 科							計	( )	( )	( )	( )	( )	( )					
	生 活							( )内は総合に代替する時間数(内数)											
道 徳	音 楽							一 日 の 時 程 表	そ の 他 の 学 校 の 教 育 活 動 に 関 す る 事 項										
	図 画 工 作																		
特 別 活 動	家 庭 体 育																		
	道 徳																		
総 計	外 国 語 活 動																		
	綜 合 的 な 学 習 の 時 間 ( )内は特活で代替した時間数(内数)			( )	( )	( )	( )												
学 校 活 動	学 級 活 動																		
	児 童 会 活 動	( )	( )	( )	( )	( )	( )												
授 業 時 数	ク ラ ブ 活 動					( )	( )												
	総 授 業 時 数 ( )内は除く																		

図1 岡山市における教育課程の様式（小学校）

## 3. 岡山市立小学校における学校教育目標の特徴

### (1) 岡山市立小学校における学校教育目標の表現形式の多様性

岡山市教育委員会に届け出された教育課程編成表の「学校教育目標」欄には、多様な表現の仕方での学校教育目標が示されている。最も短く表現されているのは「人 自然 学び が大好き」の9文字であり、最も長いものは以下に示した214文字（句読点を含む。）から成っている。

多くの学校は、学校教育目標欄に「学びがい、ふれあいのある楽しい学校」といった教育目標に加えて、「つよい子・やさしい子・考える子ども」といった「目指す子ども像」を位置づけている。この「目指す子ども像」は、小学生にもわかるような言葉を使って示されている。そこには、学校教育目標を子どもたちにも理解させようとする意図がある。

さらに、学校教育目標欄に「目指す学校像」を位

学びがい、ふれあいのある楽しい学校  
 学びがいのある…学ぶことが楽しい、学んで分かることがうれしい、学んでよかった、学んだことが自分のためになったと実感することができる。  
 ふれあいのある…さまざまな人（地域の人、同学年の人、異学年の人）との関わり（ふれあい）の中で、思いやりの心をもつ。  
 ◎つよい子 - じょうぶな心と体で がんばりぬく子ども -  
 ◎やさしい子 - 思いやりの心もち 助け合う子ども -  
 ◎かながえる子ども - 進んで考え 学びつづける子ども -

置付けている学校が6校あるほか、「目指す教師像」を位置付けている学校もある。

以上のように、9文字から200文字を超えるものまで、岡山市立小学校の学校教育目標の表現の仕方は多様ではつきがある。このことは、学校教育目標として何をどのように示すべきなのか、学校ごとに判断が揺れていることの現れであろう。

## (2) 岡山市立小学校における学校教育目標の内容分析

### ① 33項目の出現頻度

岡山市立小学校の学校教育目標で使われている言葉を33項目の選択肢の中から選んだ結果を、出現頻度の順にグラフ化したものが図2である。

最も頻度が高い項目は「健康体力」の60.2%であった。ここには「たくましい子」や「健やかな体」といった表現のある学校教育目標が含まれている。次に、「思いやり」(48.4%)、「社会性・協調性」(図中「社会性協調」と記載。)(41.9%)、「豊かな心」(39.8%)と、徳育的な項目が続いている。その後には、「自ら学ぶ力・自己学習力」(図中「自ら学ぶ」と記載。)(36.6%)、「思考力・考える力」(図中「考える力」と記載。)(31.2%)と知育的な内容が来る。つまり、岡山市立小学校の学校教育目標は、体育・徳育・知育の順に重視されているとすることができる。

なお、岡山市は、平成19年4月に施行された「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進す

る条例（岡山っ子育て条例）」<sup>5)</sup>において「自立する子どもの育成」を市の教育・子育ての目標とし、「岡山市教育振興基本計画」(平成25年)<sup>6)</sup>においても「自立する子ども」を目指す子ども像としている。しかし、岡山市立小学校の学校教育目標を見ると「自主自立・主体性」(図中「自主自立」と記載。 )の項目は低く(7.5%)、市の方針が十分反映されているとは言いがたい。

また、岡山市は全教育機関においてESDを推進することを求めているが<sup>7)</sup>、ESDに関連する「地域郷土」は12.9%、「環境自然」は3.2%、「国際・国際社会」(図中「国際」と記載。 )は1.1%と出現率が低いことから、ESDの理念についても学校教育目標の中に十分浸透しているとは言えない状況が見られる。

### ② 「ベネッセ調査」との比較

学校教育目標の内容分析の結果を、平成22年に実施された第5回「ベネッセ調査」の結果と比較する。上位項目を「ベネッセ調査」と対比させて並べると、表1のようになる。

両者を比較すると、第一の相違点は、岡山市立小学校では「社会性・協調性」が3位なのに対し、「ベネッセ調査」では22位である点である。岡山市立小学校では「みんなで」「ともに」「～し合う」という表現が多用されている。

第二に、「生きる力」という項目が「ベネッセ調査」では4位であるが、岡山市立小学校の場合23位で

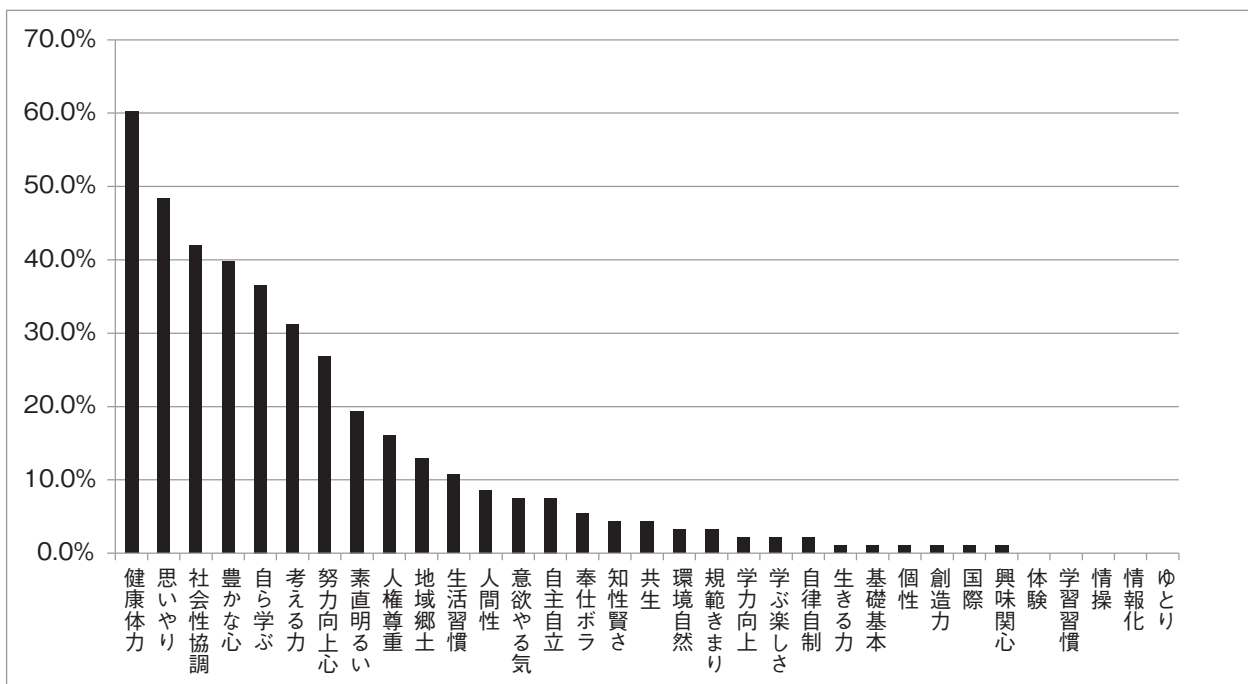


図2 岡山市立小学校の学校教育目標の内容 (33項目の出現頻度)

ある点である。「生きる力」という大きな言葉を使わないで、より具体的な言葉を使って学校教育目標を表現しようとしている。

第三に、「ベネッセ調査」では「基礎・基本」(図中「基礎基本」と記載。)が7位なのに対し、岡山市立小学校では24位である点である。上述したように、岡山市立小学校では相対的に知育に関する項目の順位が低い。例えば、「学力向上・学力定着」(図中「学力向上」と記載。)は「ベネッセ調査」が9位なのに対し岡山市立小学校は20位、「学習習慣」が「ベネッセ調査」が20位なのに対し、岡山市立小学校ではその項目に該当する学校が存在しない。

### ③岡山市立中学校の学校教育目標との比較

次に、「岡山市立中学校教育課程研究」の結果と比較する。

小・中学校とも、「健康体力」という体育に関する

項目、「心の教育・豊かな心」(図中「豊かな心」と記載。)という徳育に関する項目、「自ら学ぶ力・自己学習力」(図中「自ら学ぶ」と記載。)という知育に関する項目が上位に入っている。このことは、岡山市の小・中学校が、知・徳・体に関する教育をバランスよく目指していることを意味している。

小・中学校で異なる点として、小学校では2位に「思いやり」、3位に「社会性・協調性」が位置付き、人間関係力に関する教育目標が重視されているのに対して、中学校では「思いやり」が9位、「社会性・協調性」は8位となっている。他方、中学校では2位に「自主自立・主体性」、5位に「努力向上心・がんばる」(図中「努力向上心」と記載。)といった教育目標が位置付いており、人間関係力に関する教育目標よりも自立や努力といった個々人の資質に関する教育目標が重視されていることが分かる。

表1 岡山市立小学校と「ベネッセ調査」との学校教育目標における出現頻度上位項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
岡山市	健康体力	思いやり	社会性・協調性	心の教育 豊かな心	自ら学ぶ力 自己学習力	思考力・考える力	努力向上心・がんばる
ベネッセ	心の教育 豊かな心	思いやり	健康体力	自ら学ぶ力 自己学習力	生きる力	思考力・考える力	基礎・基本

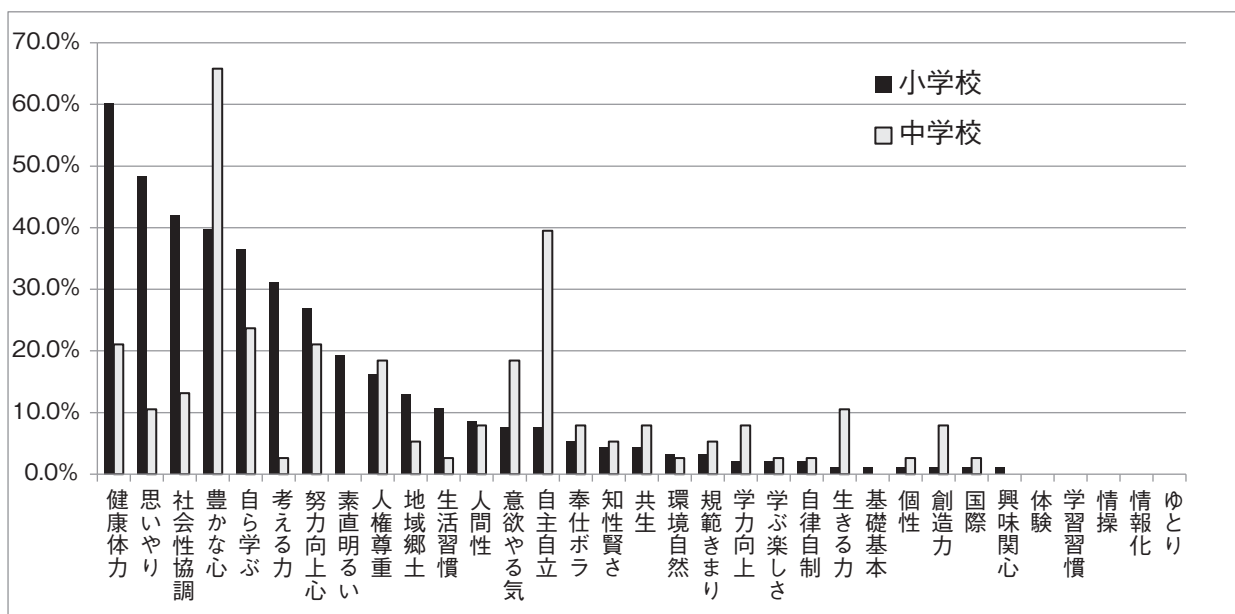


図3 岡山市立小・中学校の学校教育目標の内容(33項目の出現頻度)の比較

表2 岡山市立小・中学校の学校教育目標における出現頻度上位項目の比較

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
小学校	健康体力	思いやり	社会性・協調性	心の教育 豊かな心	自ら学ぶ力 自己学習力	思考力・考える力	努力向上心・がんばる
中学校	心の教育 豊かな心	自主自立 主体性	自ら学ぶ力 自己学習力	健康体力	努力向上心・ がんばる	意欲やる気	人権尊重

4. 岡山市立小学校における学校教育目標の類型化  
 岡山市立小学校の学校教育目標のクラスター分析の結果、表3のように類型化することができた。

①指導要領準拠型 (23校)

このグループは、「健康体力」「自ら学ぶ力・自己学習力」「思いやり」「豊かな心」という項目の出現率が高い。これらは、現行学習指導要領が提起する「生きる力」の構成要素であり、徳育・知育・体育という学校教育目標を設定する際のオーソドックスな3つの観点である。

<例>

・自ら学び、心豊かな、たくましい子を育てる

○のびゆく子 ○やさしい子 ○たくましい子

・人間性豊かで、自ら考え、正しく判断し、実行力のある子どもの育成を図る

○ま心のある子ども (豊かな心) ○工夫する子ども (自ら学ぶ意欲) ○たくましい子ども (健康な体)

・思い豊かに 自ら学び 共にたくましく生きる子どもの育成

かしこく やさしく たくましく

②徳育体育重視型 (23校)

このグループは、「健康体力」という体育と「豊かな心」「社会性・協調性」「思いやり」「素直明るい」という徳育に関する項目の出現頻度が高い。「あいさつができる」といった「生活習慣」に関する項目も相対的に高い。それに対して「自ら学ぶ」が「指

表3 岡山市立小学校の学校教育目標の類型

	指導要領準拠型 (23校)	徳育体育重視型 (23校)	地域協働型 (4校)	特色ある目標型 (29校)	努力自立重視型 (14校)	全体 (93校)
健康体力	91.3%	95.7%	0.0%	0.0%	92.9%	60.2%
思いやり	56.5%	43.5%	25.0%	24.1%	100.0%	48.4%
社会性・協調性	26.1%	73.9%	75.0%	37.9%	14.3%	41.9%
豊かな心	39.1%	91.3%	0.0%	13.8%	21.4%	39.8%
自ら学ぶ力・自己学習力	82.6%	30.4%	100.0%	10.3%	7.1%	36.6%
思考力・考える力	26.1%	39.1%	0.0%	3.4%	92.9%	31.2%
努力向上心・がんばる	26.1%	21.7%	0.0%	24.1%	50.0%	26.9%
素直明るい	8.7%	39.1%	75.0%	10.3%	7.1%	19.4%
人権尊重	21.7%	8.7%	0.0%	17.2%	21.4%	16.1%
地域郷土	13.0%	17.4%	75.0%	3.4%	7.1%	12.9%
生活習慣	0.0%	17.4%	100.0%	3.4%	7.1%	10.8%
人間性	17.4%	0.0%	25.0%	6.9%	7.1%	8.6%
意欲やる気	17.4%	4.3%	0.0%	3.4%	7.1%	7.5%
自主自立・主体性	4.3%	0.0%	25.0%	6.9%	21.4%	7.5%
奉仕・ボランティア	0.0%	0.0%	100.0%	3.4%	0.0%	5.4%
知性賢さ	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
共生	4.3%	8.7%	0.0%	3.4%	0.0%	4.3%
環境自然	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	7.1%	3.2%
規範きまり	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
学力向上	4.3%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	2.2%
学ぶ楽しさ	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	7.1%	2.2%
自律自制	4.3%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	2.2%
生きる力	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%
基礎・基本	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
個性	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%
創造力	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	1.1%
国際	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%
興味関心	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
体験	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学習習慣	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情操	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ゆとり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

\* 20%以上の数値に網掛けをしている。

「導要領準拠型」に比べると半分以下である。

<例>

- ・豊かな心を持ち、自ら考えて、たくましく生きる児童の育成
- ・豊かな心を持ち、たくましく生きる 凜とした〇〇っ子（〇〇には学校名が入る。）
- ・笑顔いっぱい 友だちいっぱい みんなでのびる〇〇っ子  
進んであいさつができ、自信を持って、主体的に取り組む子ども
- ・心豊かで、たくましく生きる子どもを育てる  
○進んで学ぶ子ども ○仲よく礼儀正しい子ども ○明るく元気な子ども

### ③地域協働型（4校）

このグループは、同じ中学校区に属する3小学校と、他の中学校区の1小学校が属しており、「地域郷土」とつながって「生活習慣」と「自ら学ぶ力・自己学習力」と「奉仕・ボランティア」（図中「奉仕ボラ」と記載。）を育むことが学校教育目標となっている。

<例>

- ・地域協働で、自立心に富み、人間性豊かな子どもを育成する  
○笑顔であいさつ ○進んで学び ○みんなのために働く子
- ・地域協働で自分らしく輝き、力強く未来を拓く子どもの育成  
○笑顔であいさつ ○進んで勉強 ○優しい気持ちでみんなのために
- ・愛とふるさと愛をもてる子  
笑顔であいさつ、進んで学び、みんなのために働く子

### ④特色ある目標型（29校）

このグループは、「健康体力」の項目が0%であり、知育・徳育に関する項目も50%を超えず、多様な項目に分散している。このグループに属する学校は、33項目のうち1項目も該当しない学校が5校、1項目だけ該当する学校が6校、2項目だけの学校が6校と、33項目に収まらない特色ある学校教育目標を設定している。

<例>

- ・輝くひとみ 生き生き〇〇（〇〇には学校名が入る。）
- ・わたしもえがお みんなもえがお
- ・わたしが好き あなたが好き みんなかがやく〇〇っ子の育成（〇〇には学校名が入る。）

- ・よくまなび こころやさしく いきいきと
- ・〇〇っ子 みんなちがって みんないい（〇〇には学校名が入る。）
- ・心豊かに自ら学ぶ児童の育成  
かがやく子 ～いい顔 いい声 いい心～

### ⑤努力自立重視型（14校）

このグループは、「学習指導要領準拠型」と同様に、知育・徳育・体育に関する項目が高く、特に「思いやり」「健康体力」「考える力」の出現頻度が90%を超えている。「学習指導要領準拠型」と異なっているのは、現行学習指導要領で用いられている「自ら学ぶ力」や「豊かな心」といった項目が低い点、そして「社会性・協調性」が低く、「努力向上心・がんばる」「自主自立・主体性」という個々人の資質に関する項目が高い点である。

<例>

- ・生き生きと学び合い、心豊かで、たくましい子どもを育てる  
○がんばる子 ○考える子 ○やさしい子  
○あいさつする子
- ・郷土を愛し、心豊かでたくましい児童を育成する  
○たくましくやりぬく子 ○よく考える子  
○やさしく思いやる子
- ・一人ひとりを大切にする教育をすすめる調和のとれた人間性豊かな児童の育成に努める  
○考える子（知） ○思いやりのある子（情）  
○チャレンジする子（意） ○たくましい子（体）

## 5. 岡山市立小学校における学校教育目標の改善・充実に向けて

ここまで、岡山市立小学校の学校教育目標の特徴を明らかにし、その類型化を行ってきた。この結果を踏まえて、今後の岡山市立小学校の学校教育目標の改善・充実に必要なことを指摘しておきたい。

### ①学校教育目標の表現形式の共有化

岡山市立小学校における学校教育目標の表現形式は多様で、岡山市立中学校以上に大きな差異があった。中学校と同様に、学校教育目標の欄に「目指す子ども像」などの具体的な内容をどこまで書き込むのかについて、学校間で共有されていない現状が見られた。

表現形式の多様性は、学校教育目標概念の多様性を反映している。学校教育目標とは何かということが岡山市立学校全体で共有される必要がある。教育課程を管理する岡山市教育委員会の取組が期待さ

れる。

## ②岡山市の教育施策・方針等を踏まえた学校教育目標の設定

『小学校学習指導要領解説－総則編』には、各学校で設定する教育目標は、次のような要件を具備する必要があると述べられている<sup>8)</sup>。

- (1)法律に定められた小学校の目的や目標を前提とするものであること。
- (2)学習指導要領に示す各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の目標やねらいを前提とするものであること。
- (3)教育委員会の規則、方針等に従っていること。
- (4)地域や学校の実態等に即したものであること。
- (5)教育的価値が高く、継続的な実践が可能なものであること。
- (6)評価が可能な具体性を有すること。

岡山市立小学校の学校教育目標は、「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例(岡山っ子育成条例)」において岡山市の教育が目指す「自立する子どもの育成」という目標をストレートに反映したものが少ない。これは、「(3)教育委員会の規則、方針等に従っていること。」という要件を十分満たしていないということである。また、岡山市立小学校のおよそ三分の一は「ユネスコスクール」であるが、文部科学省による「ユネスコスクール・ガイドライン」にある「学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくすること。」という事項を踏まえた学校教育目標や、岡山市の「持続可能な開発のための教育の推進に関する条例」が提起するESDの理念を踏まえた学校教育目標を設定している学校は少ない。

各学校は、同時に「(4)地域や学校の実態等に即したものであること。」という要件も考慮しなければならないため、岡山市の施策・方針をそのまま学校教育目標にする必要はないが、それらを踏まえて学校教育目標を設定する必要があるだろう。

## ③実践可能・評価可能な学校教育目標の設定

岡山市立小学校の学校教育目標は、抽象的で、スローガンのようなものが多い。それは特に、「④特色目標型(29校)」の学校に見られる。例えば、「輝くひとみ 生き生き○○」「わたしもえがお みんなもえがお」「わたしが好き あなたが好き みんなかがやく○○っ子の育成」といった学校教育目標は、どのような教育をすればよいのかが曖昧であり、学

校の教育実践を方向付けていくものにはなりにくい。そして、これらの学校教育目標は、上述した『小学校学習指導要領解説－総則編』にある「(6)評価が可能な具体性を有すること。」という要件を具備しておらず、その達成度を評価することができない。

学校教育目標を、より具体的で、実践を方向付け、その達成度を評価できるものにしていくとともに、「教育課程評価」「学校評価」の評価項目に、学校教育目標の達成度に関わる項目を位置付けていくことで、学校教育目標とその達成を目指す教育実践との相互的な改善・充実を図っていくことが求められる。

## ④地域・学校・児童の現状分析を踏まえた特色ある学校教育目標の設定

学校教育目標は、地域・学校・児童の実態に即した、特色ある教育・学校づくりを実現できるものであることが求められている。特に、岡山市教育委員会は、中学校区単位の幼稚園・小学校・中学校が連携・協働して学校運営を行う「地域協働学校」、連携・協働して教育実践の質的向上を図る「いきいき学校園づくり事業」に取り組んでおり、そこでは、中学校区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校が地域や児童の実態を分析した上で、共通の目指す子ども像を持つことを求めている。しかし、同じ中学校区の小学校の学校教育目標が同じ類型になっているのは、36中学校区中6中学校区に過ぎない。中学校区の地域や児童の実態分析を踏まえて、中学校区の小学校間で学校教育目標を共同検討し、中学校との接続を見通した学校教育目標を設定することが求められる。

また、学力・学習状況調査の結果など、児童の現状をめぐる客観的なデータを活用した分析を踏まえた学校教育目標の設定も必要である。

## ⑤学校教育目標を達成するための校内研究との関連付け

教育課程の様式には、学校教育目標に加えて、それを達成するために各学校で重点的に指導する内容を「指導の重点」欄に示し、それを行うための時間を「授業時数の配当」欄に示す。しかし、「指導の重点」を全教職員で共有して指導に取り組み、その指導を通して学校教育目標を達成するためには、校内研究が不可欠である。とりわけ、具体性に乏しい学校教育目標を日常的な教育活動と重ね合わせていくためには、校内研究において学校教育目標の達成にとって有効で、効果的な指導の在り方を明らかにすることが欠かせない。

おわりに一次期学習指導要領への対応を契機とした教育課程の抜本的見直しを

本研究は「岡山市立中学校教育課程研究」の続編である。岡山市立小学校の学校教育目標は岡山市立中学校の学校教育目標と類似した特徴を持っており、類型化の結果は異なっているが、類似した課題、及び改善・充実の方策が考えられた。このことは、岡山市立小・中学校は、教育課程の改善・充実のための課題を共有しており、それに対して共同して取り組むことが容易にできるということを示している。

平成28年度中に、次期学習指導要領が公示される予定である。次期学習指導要領は、子どもたちに育成すべき資質・能力を新たに提起するとともに、「社会に開かれた教育課程」を編成し、教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の重要性を提起するものになる。それゆえ、次期学習指導要領は各学校の学校教育目標の見直しを求めるものとなる<sup>9)</sup>。次期学習指導要領の公示を契機に、岡山市立小・中学校はどのような資質・能力を育成していくのか、そのためにどのような教育活動を目指すのか、学校教育目標の見直しを含めた全面的な教育課程の改訂が必要である。

## 謝辞

本研究を進めるにあたって、岡山市立小学校の全学校の教育課程に関する情報を、岡山市教育委員会様よりいただきました。お礼申し上げます。

- 1) 文部科学省『小学校学習指導要領解説－総則編』平成20年、10ページ。(http://www.mext.go.jp/component/a\_menu/education/micro\_detail/\_icsFiles/afielldfile/2009/06/16/1234931\_001.pdf)
- 2) 岡山市立学校管理規則(市教育委員会規則第6号、昭和38年12月7日)。なお、この規則は、岡山市のWEBサイトにある「例規検索システム」(http://www.city.okayama.jp/soumu/soumu/soumu\_00119.html)で検索することができる。
- 3) 住野好久・三島知剛・藤枝茂雄・山崎光洋・宮

本浩治・今井康好「岡山市立中学校の教育課程に関する研究―学校教育目標の分析・類型化―」『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』第163号、1～7ページ。

- 4) ベネッセ教育総合研究所による「学習指導基本調査」は「小学校・中学校における学習指導の実態と教員の意識」を調査するために数年ごとに実施されている。最新は「第5回学習指導基本調査(小学校・中学校版)」(2010年)であり、2010年8月～9月に、全国の公立小学校(校長560名、教員2,688名)・中学校(校長573名、教員2,827名)を対象として実施された。(http://berd.benesse.jp/shotouchutou/research/detail1.php?id=3243)。
- 5) 「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」(平成19年)に関しては、次のWEBサイトを参照されたい。http://www.city.okayama.jp/kyouiku/kyouikusoumuka/kyouikusoumuka\_00050.html
- 6) 「岡山市教育振興基本計画」(平成25年)については、次のWEBサイトを参照されたい。http://www.city.okayama.jp/kyouiku/kyouikusoumuka/kyouikusoumuka\_t00007.html
- 7) 岡山市は、以前から主に社会教育分野でESDを推進してきたが、平成26年に「ESDに関するユネスコ世界会議(ステークホルダー会合)」等を開催するにあたって、岡山市立小・中学校のユネスコスクール加盟を推進するとともに、同年に「持続可能な開発のための教育の推進に関する条例」(http://www.city.okayama.jp/contents/000250816.pdf)を制定し、岡山市の設置する全ての教育機関に「自らの教育活動全体の中で総合的にESDに関する取組を行うよう努めなければならない。」という努力義務を課している。
- 8) 文部科学省 前掲書 90～91ページ。
- 9) 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ(案)」平成28年8月19日より。http://www.mext.go.jp/b\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryu/\_icsFiles/afielldfile/2016/08/22/1376199\_2\_1.pdf